ゾルベツキシマブ+CAPOX療法

（作成者：クリニカルパス専門部会）

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 治療前日	2病日 ／ 治療当日	3病日 ／ 治療後1日目	4病日 ／ 治療後2日目	5病日：退院 ／ 治療後3日目	【退院後の生活について】
達成評価	・治療について理解できる			・退院指導の内容を理解できる		・定期的な通院を継続してください ・処方されている薬は医師の指示通りに内服してください ・内服薬は自己判断せずに、指示された通りに内服してください 以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0度以上の発熱 ・風邪などの感染症症状 ・手足のしびれ ・その他、いつもと様子が違うなど、気になる症状 【緊急連絡先】 ・診療日時間内（8：30～17：00） 消化器内科外来 ：0985-85-9883 ・休診日・診療日時間外 3階西病棟 ：0985-85-1745
	・38.0度以上の発熱がない					
		・嘔気・嘔吐のコントロールができる ・有害事象（発熱、嘔気・嘔吐、下痢、手足のしびれなど）の症状出現時は医療者に伝えることができる ・経口摂取ができる				
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します 	・抗がん薬を内服します（1日2回　朝夕食後、14日間） 				
注射		・抗がん薬の点滴をします 				
検査	・採血 ・身長・体重測定  			・採血 	・体重測定 	
処置		・心電図モニターをつけます。その後医師の指示で外します				
食事	・制限はありません	・朝食は軟飯ハーフ食になります ・昼食は欠食です。夕食から常食になります	・制限はありません 			
活動・安静	・制限はありません	・制限はありませんが、抗がん薬の点滴中は病棟内でお過ごしください	・制限はありません			
清潔	・シャワー浴ができます 	・シャワー浴はできません。必要時、身体を拭きます	・シャワー浴ができます			
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・感染予防、転倒転落予防について説明します			・退院後の生活について説明します	・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください	・痛みや吐き気があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください				
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください			・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います	
		・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2026年8月承認
2026年10月更新